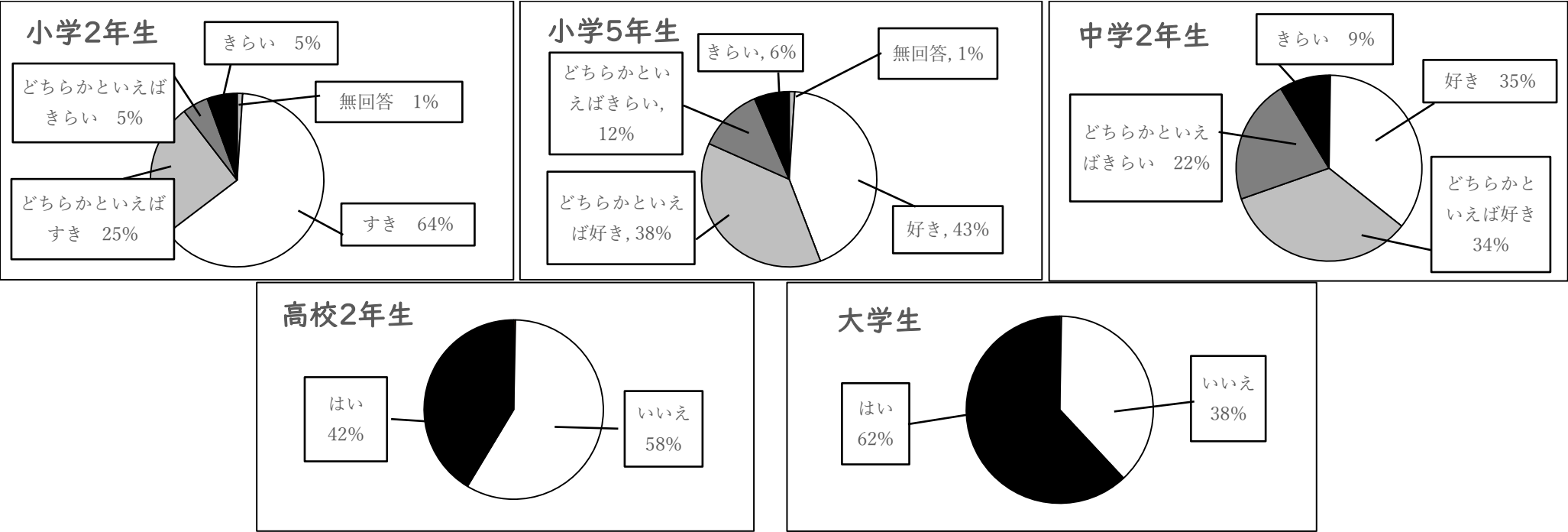


子どもたちへのアンケート結果《概要版》

＜対象：回答数＞ 小学 2 年生：679 名（市立）、小学 5 年生：867 名（市立）、中学 2 年生：843 名（市立）
高校 2 年生：324 名（市内 3 校）、大学生：339 名（市内 3 校、近隣 1 校）

1. 本を読むことが好きか、または、読書をするか

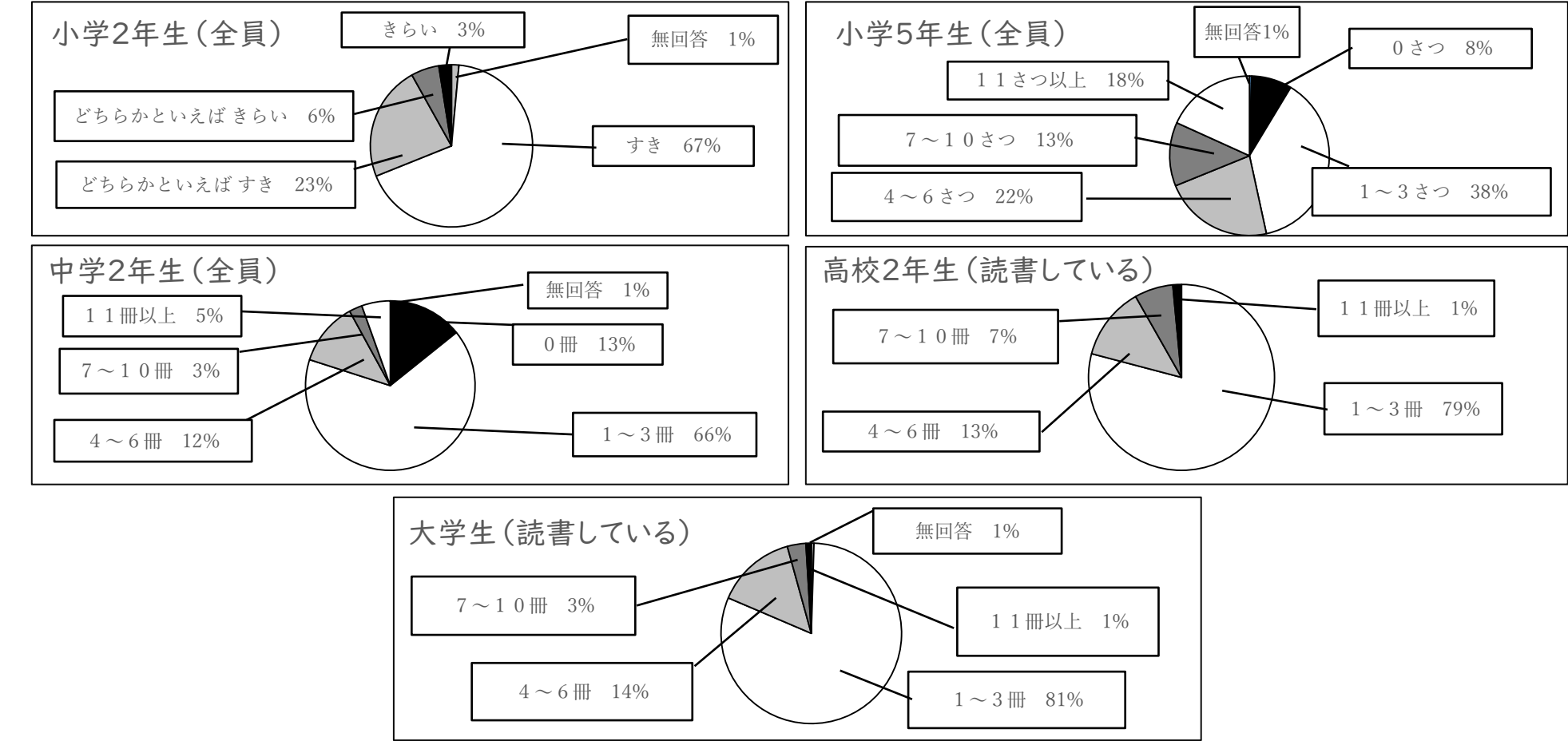
傾向：高校 2 年生以外は、「好き・どちらかと言えば好き」と答える子どもたちの割合の方が多い。



2. (小学 2 年生) 本を読んでもらったり、おはなしを聞いたりすることは好きか。

(小学 5 年生～大学生) 1 か月の読書冊数

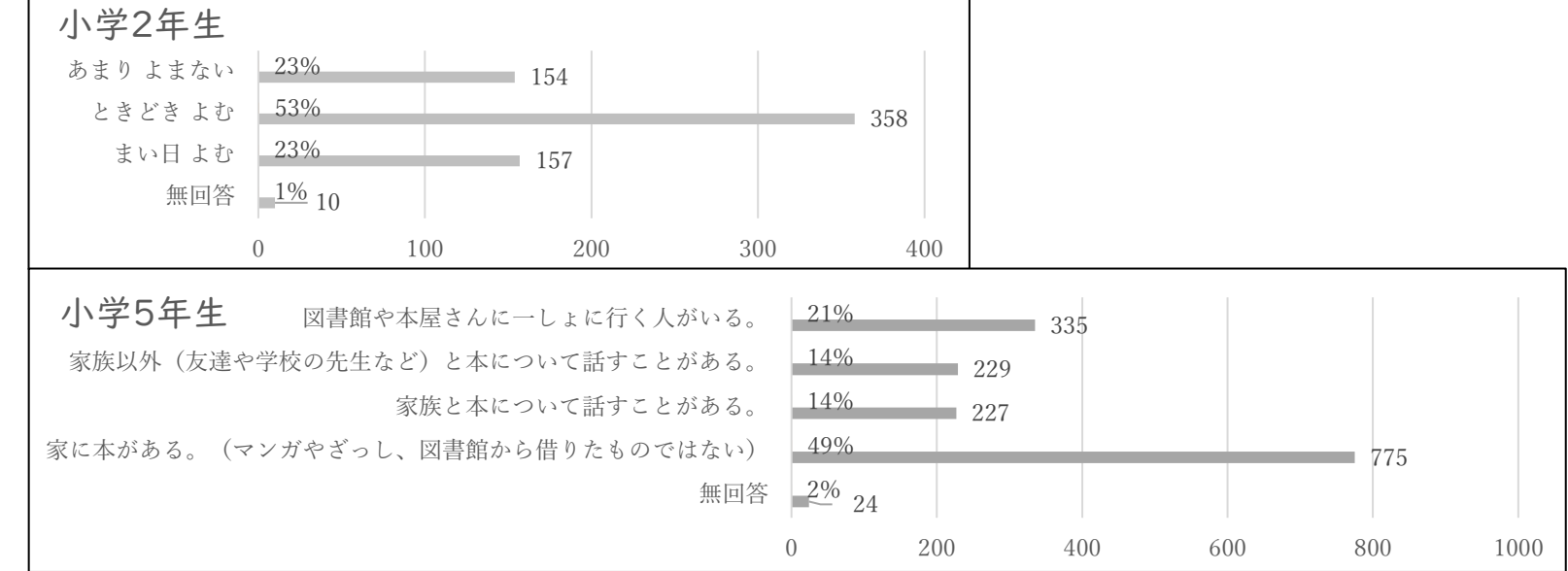
傾向：小中学生は、設問 1 に比例した答えとなっている。読書をする と 答えた 高校生・大学生の 80% が月 1 ～ 3 冊 と 回答した。

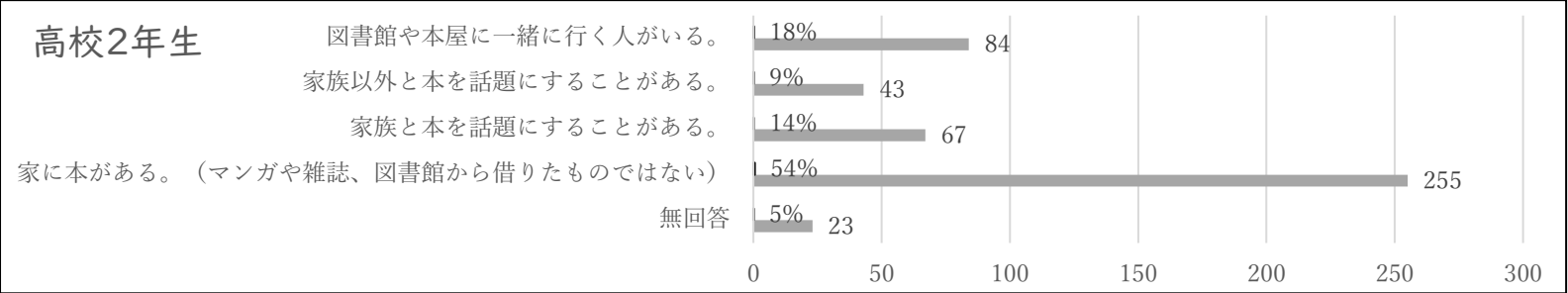
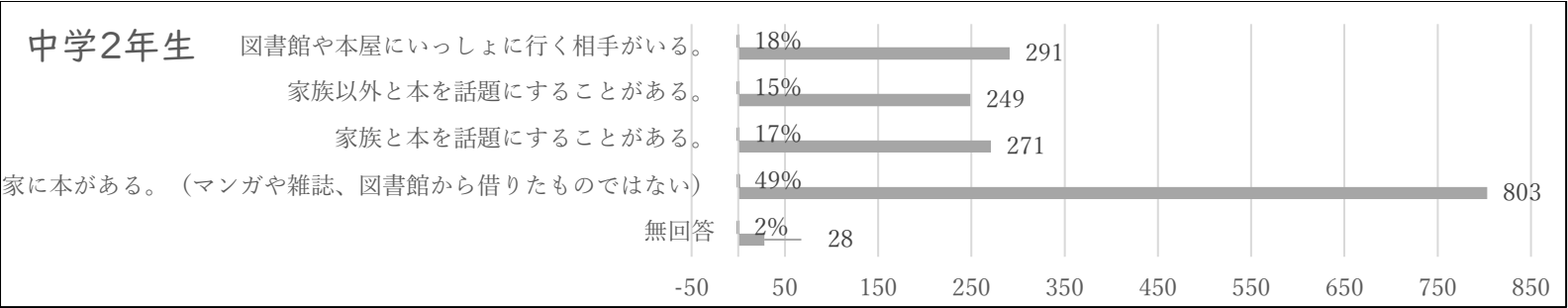


3. (小学 2 年生) 家で読書することがあるか

(小学 5 年生～高校 2 年生) 読書に関する環境

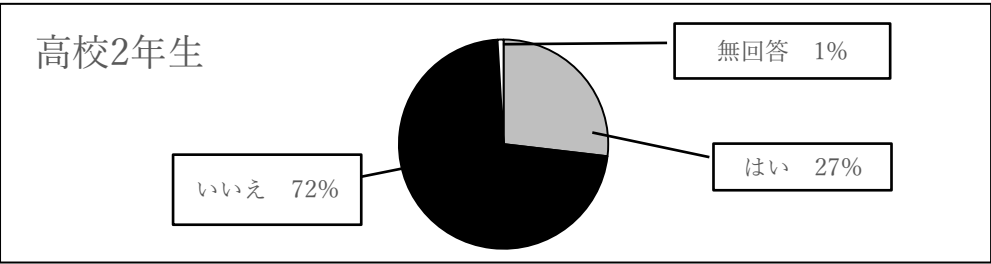
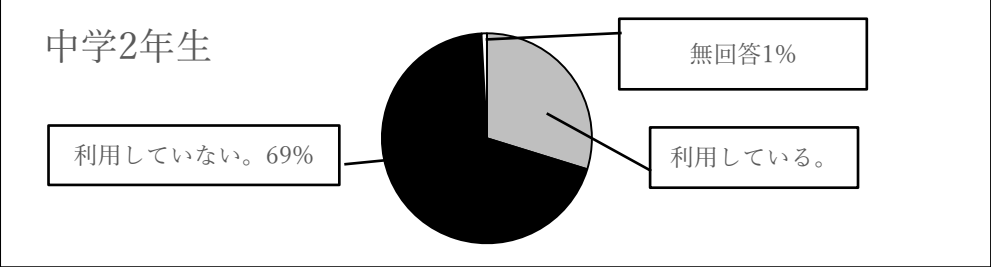
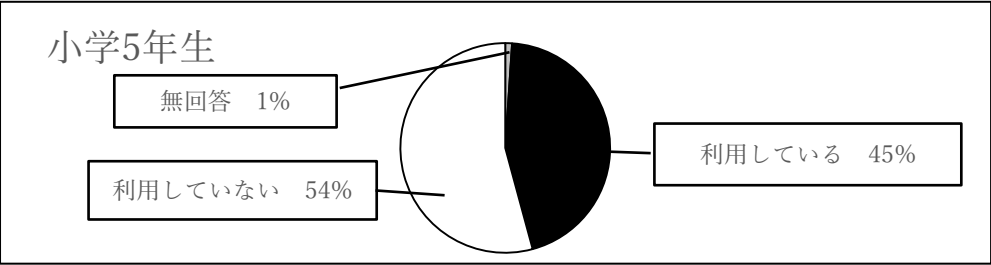
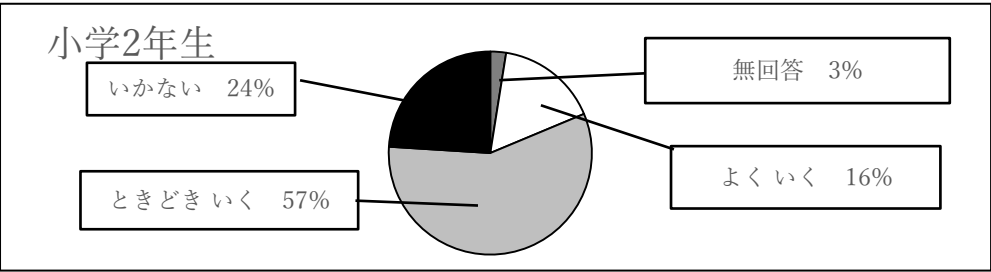
傾向：どの学年も家に本があると答えた割合が半数程度ある。



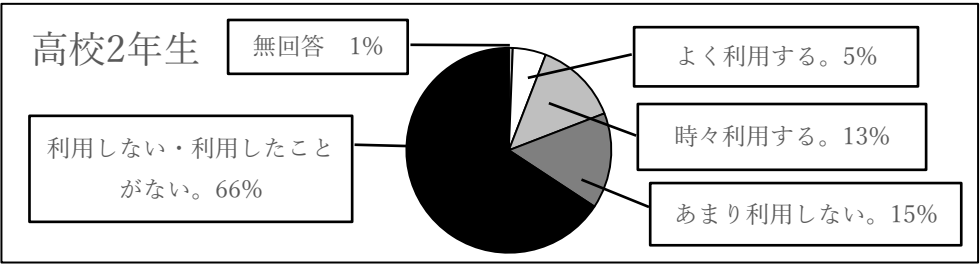
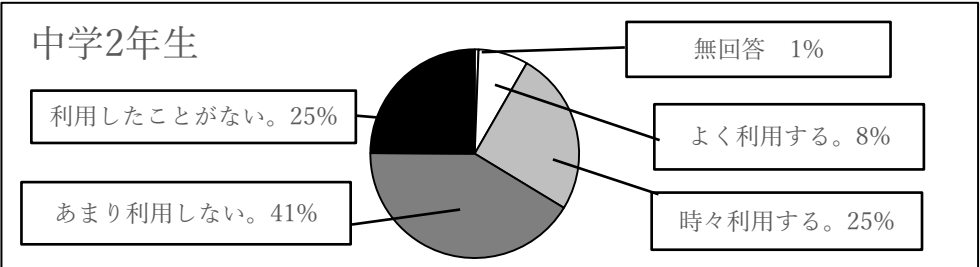
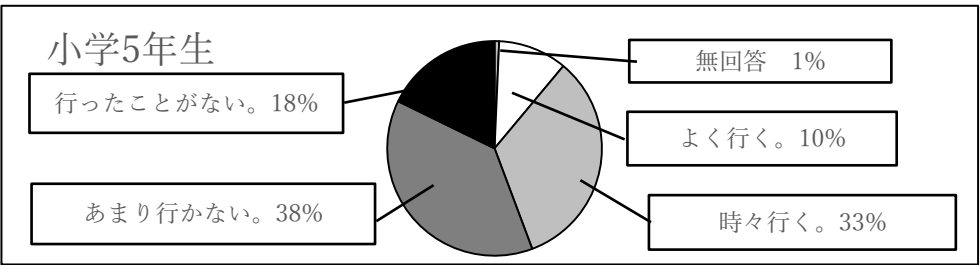
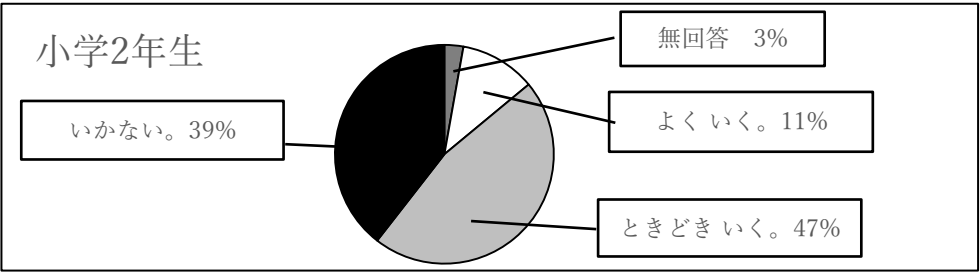


4. (小学2年生～高校2年生)授業以外で学校図書館に行くか。多摩市立図書館に行くか。
傾向：(学校図書館)学年が上がるにつれ「行かない・利用していない」と答えた割合が増加している。
(多摩市立図書館)学校図書館と同様の傾向。小学2年生で「行かない」と答えた割合は、学校図書館より多い。

＜学校図書館＞



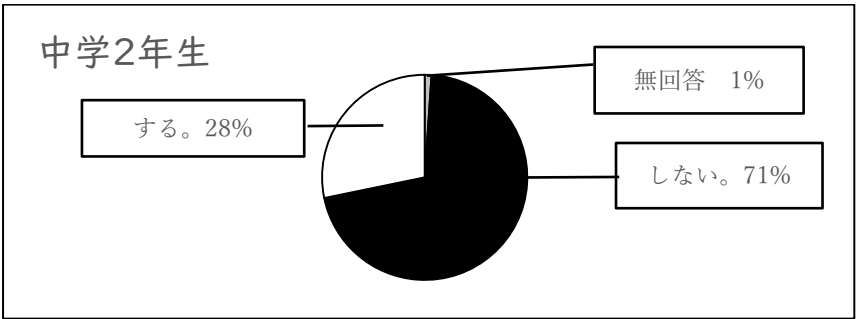
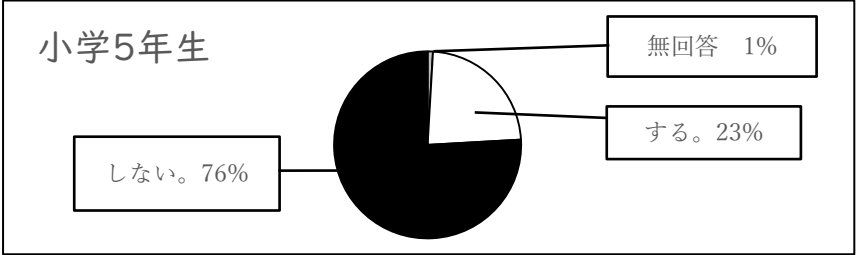
＜多摩市立図書館＞



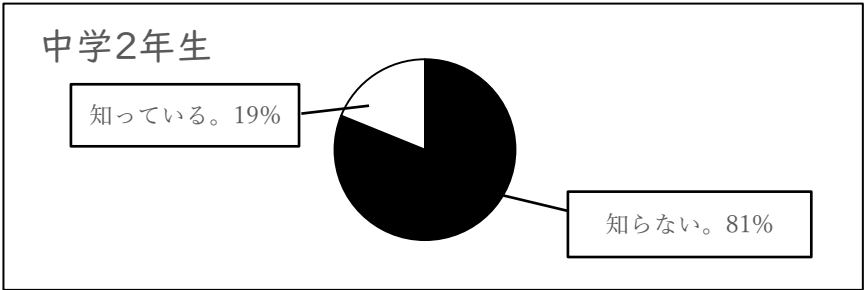
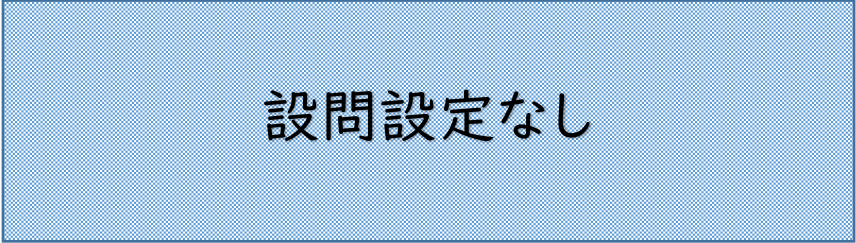
5. (小学5年生～高校2年生)スマートフォンやタブレットで読書をするか
(中学2年生～大学生)電子図書館の認知度

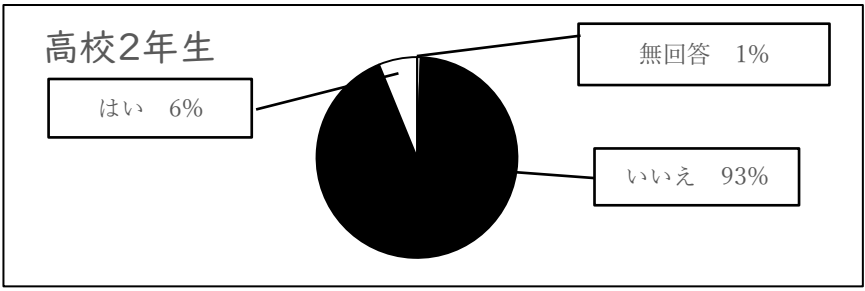
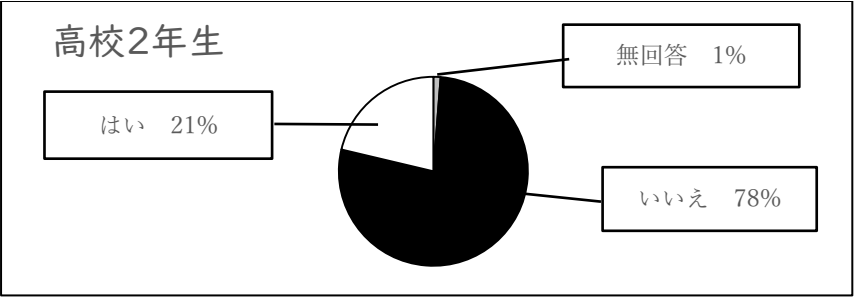
傾向：(電子機器を使用しての読書) どの学年もあまりしていない
(電子図書館の認知度) どの学年にもあまり知られていない

＜電子機器を使用しての読書＞

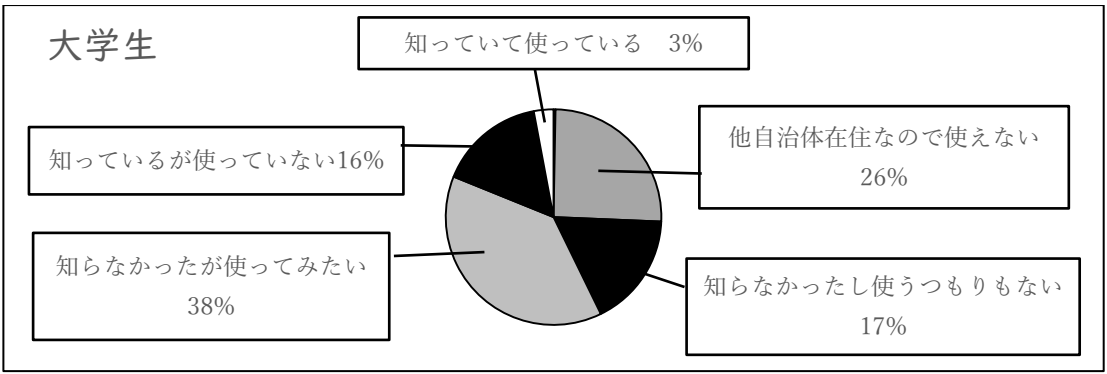


＜電子図書館の認知度＞





設問設定なし

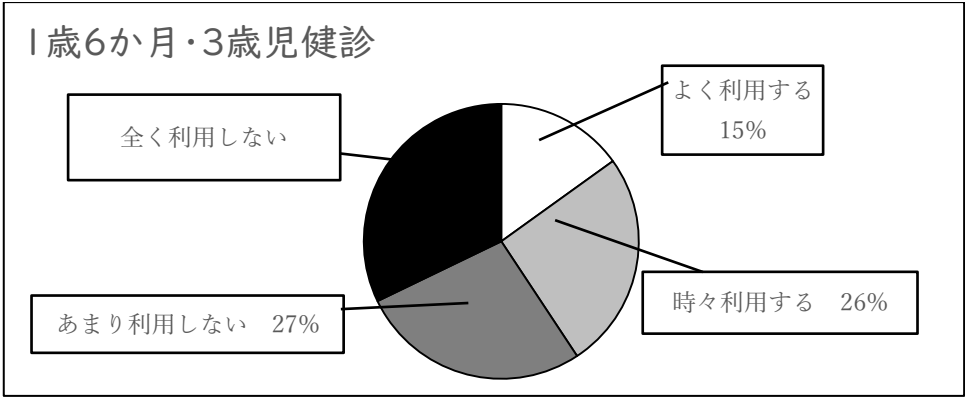
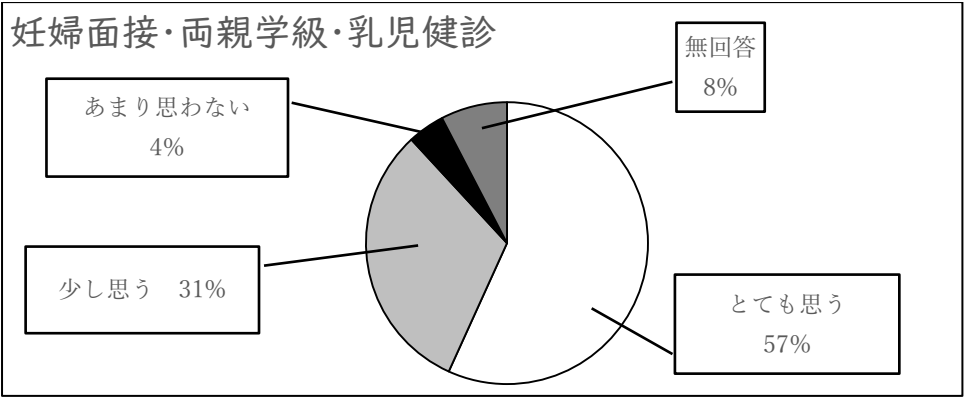


子どもに関わるアンケート結果《概要版》①

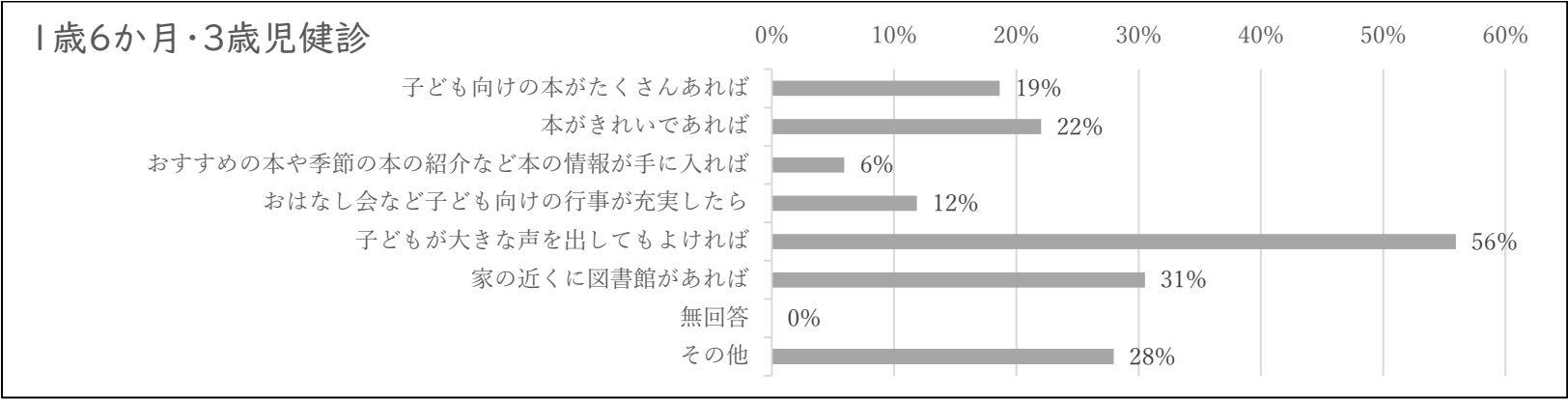
＜対象：回答数＞ 妊婦面接・両親学級・乳児健診：118件、1歳6か月・3歳児健診：200件

- 1.（妊婦面接・両親学級・乳児健診）子どもと図書館を利用したいと思うか
（1歳6か月・3歳児健診）子どもと図書館を利用するか

傾向：出産前・出産直後の保護者は、57％が「子どもと利用したい」と答えているが、子どもが1歳半～3歳を迎えると「子どもとよく利用する・時々利用する」と答えた割合は、41％にとどまっている

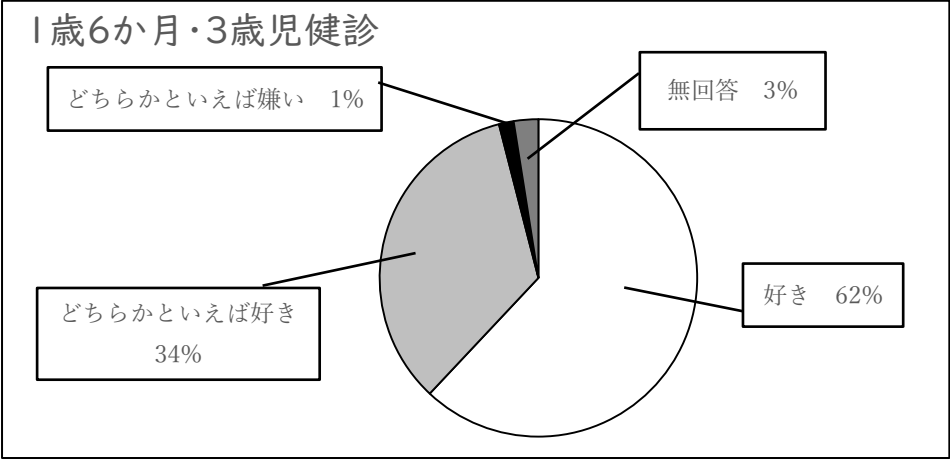


- 2.（1歳6か月・3歳児健診のみ）図書館を「あまり」または「全く」利用しない。どうしたら図書館を利用したくなるか（複数回答可）
傾向：半数以上が館内で声を出しても良い環境を求めている



- 3.（1歳6か月・3歳児健診のみ）子どもは本と接することが好きか

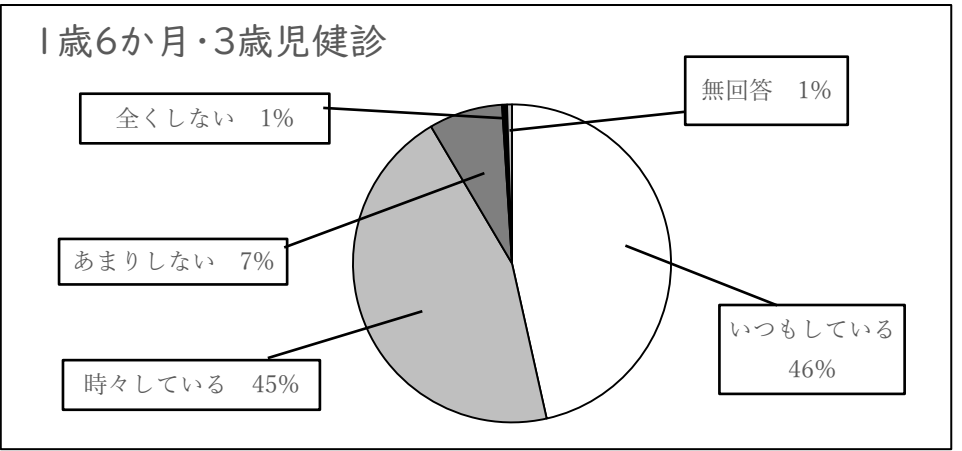
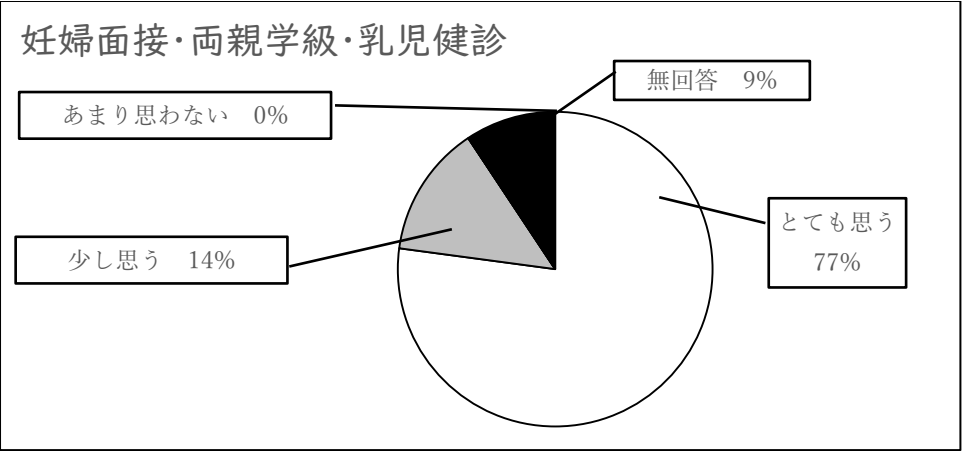
傾向：保護者から見て、ほとんどの子どもが「好き・どちらかと言えば好き」と答えている



- 4.（妊婦面接・両親学級・乳児健診）子どもと一緒に本を楽しみたいと思うか

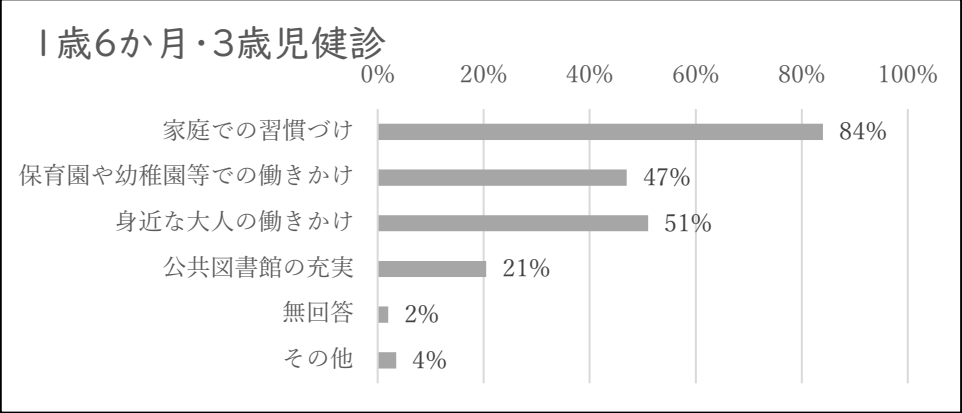
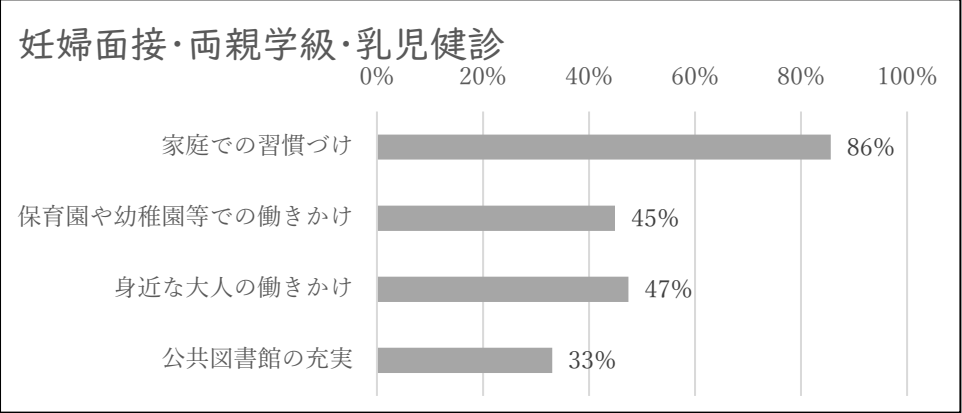
（1歳6か月・3歳児健診）子どもと一緒に本を楽しんでいるか

傾向：「図書館を利用したい・利用している」と答えた割合よりも、「一緒に本を楽しみたい・楽しんでいる」と答えた割合が多い。



5. 子どもが読書を好きになるために必要なこと（複数回答可）

傾向：どちらの保護者も、家庭での習慣づけが大切であるという意識を持っている。

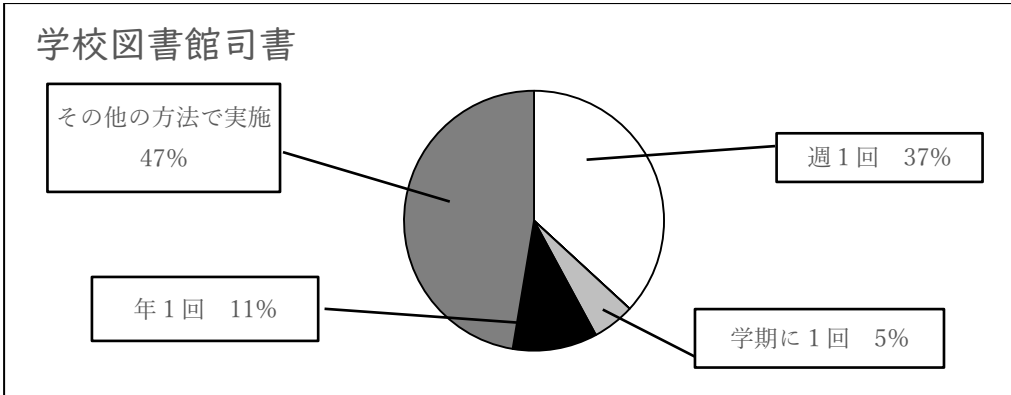
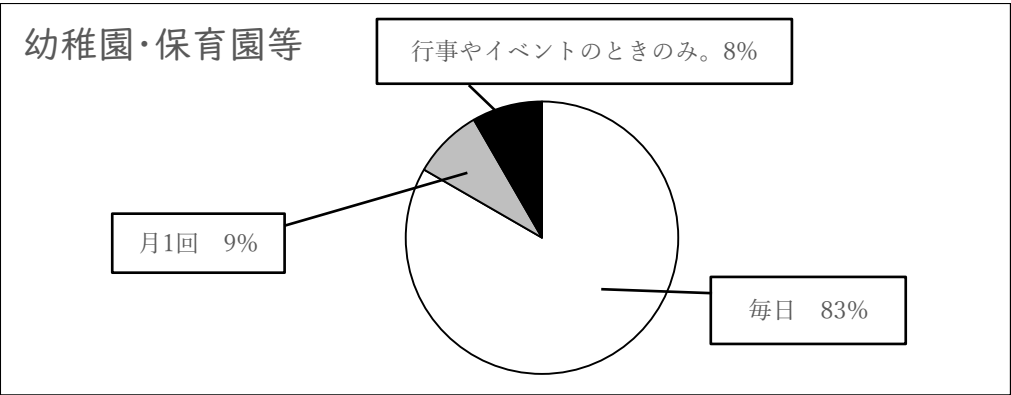
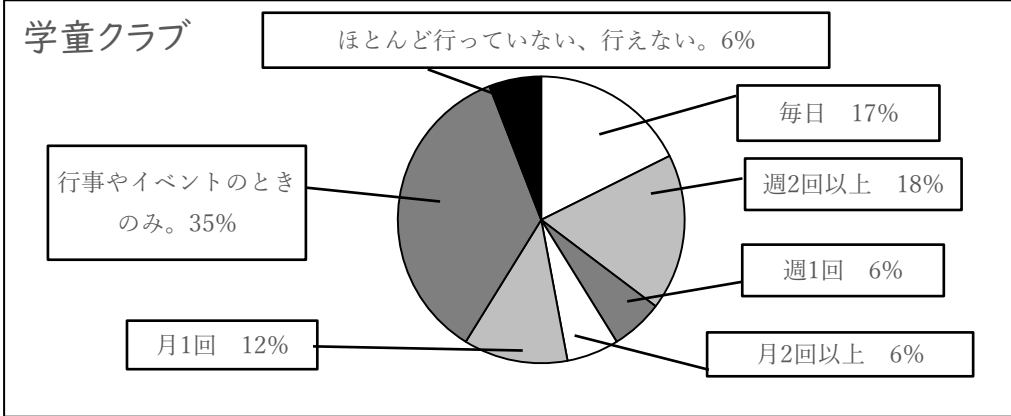
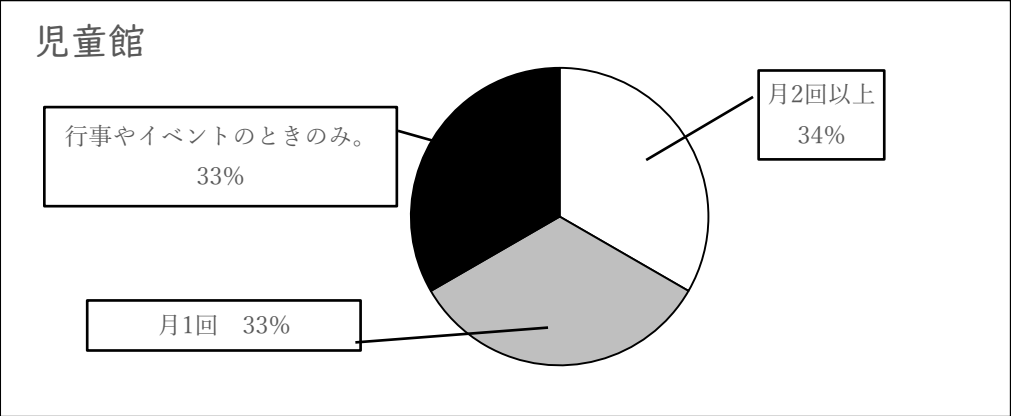


子どもに関わるアンケート結果《概要版》②

<回答数> 児童館：6件、学童クラブ：17件、幼稚園・保育園：12件、
市内小中学校学校図書館司書：23件、市内小中学校司書教諭：15件

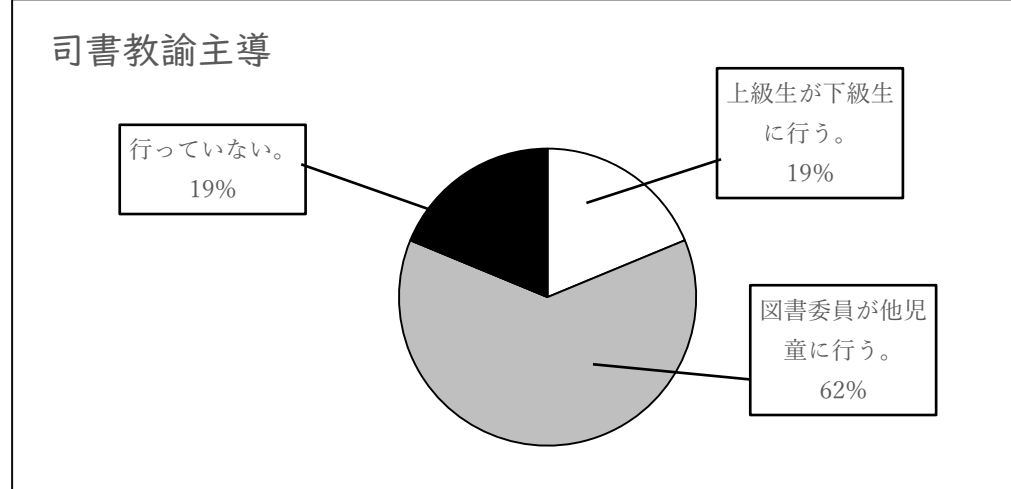
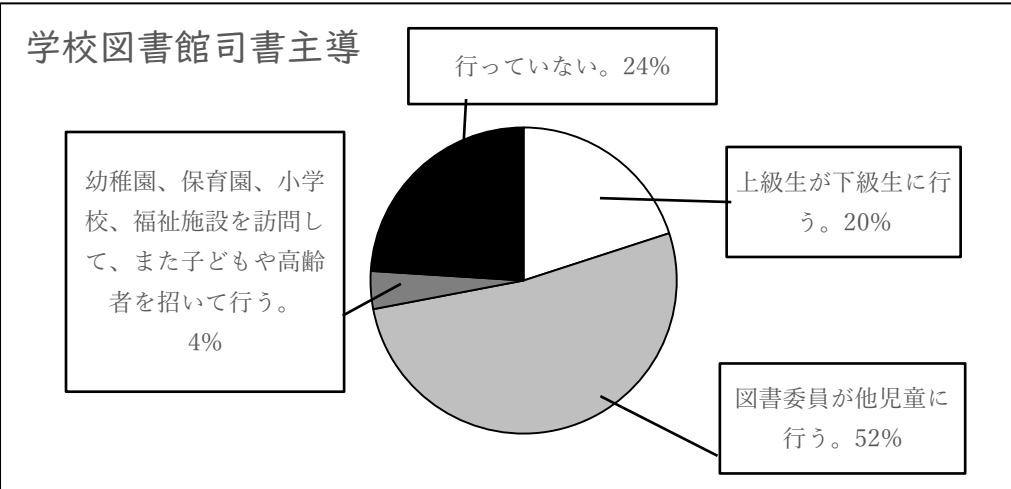
1. 読み聞かせの実施頻度（司書教諭：設問設定なし）

傾向：ほとんどの施設等において定期的に実施している。



2. （学校図書館司書・司書教諭のみ）児童・生徒による異年齢の子どもたちに向けた読み聞かせ

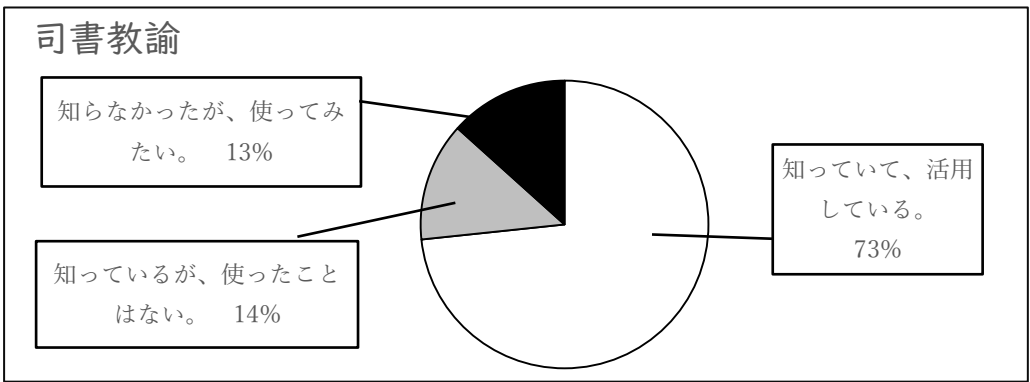
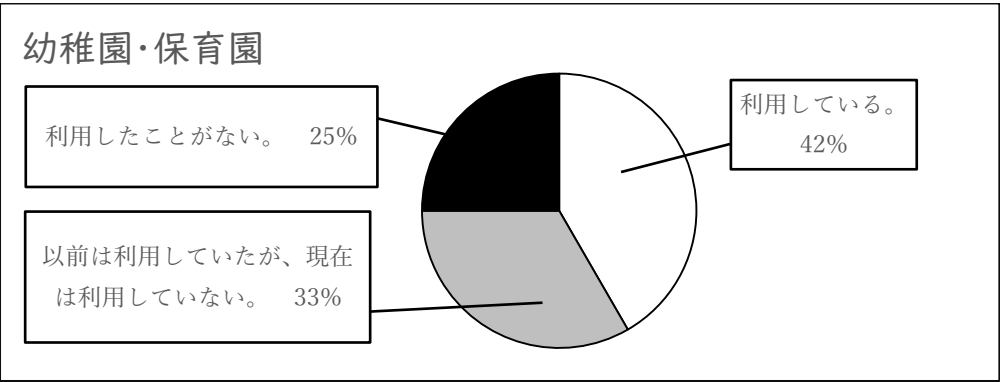
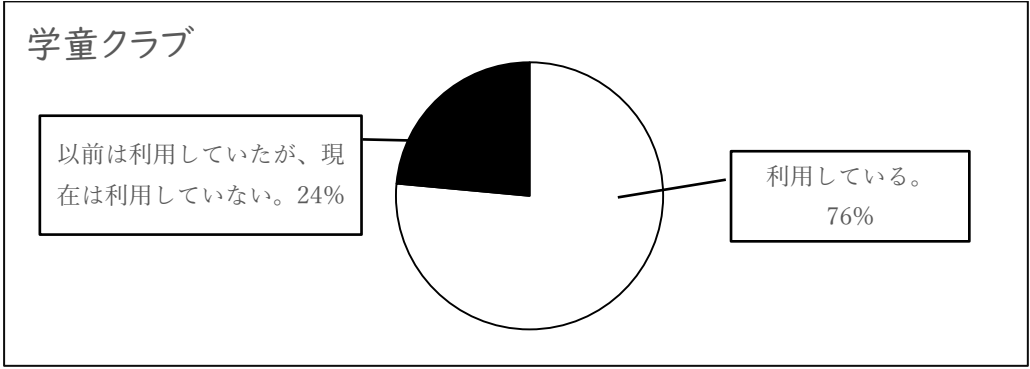
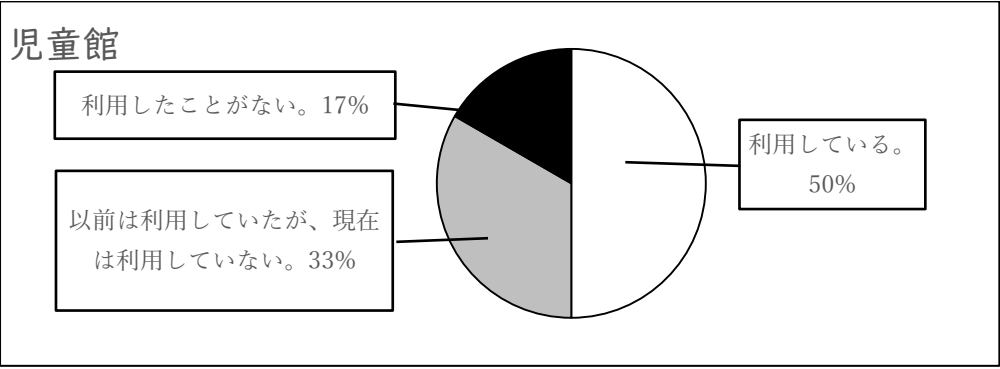
傾向：比較的实施されており、他施設へ出向いての読み聞かせなども行われている。



3. （児童館、学童クラブ、幼稚園・保育園）団体貸出の利用

（司書教諭）調べ学習の利用 ※学校図書館司書への設問設定なし

傾向：児童館、幼稚園・保育園については半数程度、学童クラブは70%を超える利用がある。
学校による調べ学習での利用についても、70%を超える学校が利用している。
一方で30%近くが「使ったことがない・知らなかった」と答えている。



4. (学校図書館司書) 学校図書館の現在（複数回答可）
傾向：87%が、予算が少ないことを課題と捉え回答している。
その中で、学校内の意見に耳を傾け、工夫しながら、資料の入手に取り組んでいる。

